



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和4年9月発表

概況

1. 旅客輸送

令和4年6月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比23.9%増、対2019年同月比19.6%減、地下鉄で対前年同月比31.0%増、対2019年同月比12.5%減、路面電車で対前年同月比33.5%増、対2019年同月比20.3%減となった。

令和4年5月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比24.9%増、対2019年同月比24.2%減、貸切バスで対前年同月比86.2%増、対2019年同月比42.7%減となった。

令和4年5月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比43.7%増、対2019年同月比29.7%減となった。

2. 貨物輸送

令和4年6月のトラック（一般貨物）の輸送量は、対前年同月比8.9%減、対2019年同月比10.8%減となった。

令和4年6月の港湾運送（内航）の輸送量は、対前年同月比1.3%増となった。また、対2019年同月比は1.2%増となった。

3. 観光

令和4年6月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比136.9%増となった。また、対2019年同月比は18.4%減となった。

4. 車両数

令和4年7月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は6.8%減、乗用自動車（軽）は増減なし、貨物自動車は11.4%減、貨物自動車（軽）は18.0%増となった。

また、対2019年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は23.7%減、乗用自動車（軽）は14.6%減、貨物自動車は14.0%減、貨物自動車（軽）は6.4%増となった。

北海道運輸局

交通政策部 交通企画課






〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2721

FAX 011-290-2716

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/>


1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	23.9	25.3	7.1
	地下鉄	31.0	33.4	7.6
	路面電車	33.5	38.2	12.2
	乗合バス	24.9	0.1	0.8
	貸切バス	86.2	23.3	3.7
	ハイヤー・タクシー	43.7	6.4	▲ 5.6
	内航フェリー	90.2	70.4	25.5
	外航フェリー	-	-	-
	国内線	193.1	155.8	63.9
	国際線	-	-	-

<凡例>

「当月」はR4.7	「当月」はR4.6	「当月」はR4.5	「当月」はR4.3



2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	0.3	▲ 4.8	▲ 14.1
	特別積合	2.0	3.1	0.7
	一般貨物	▲ 8.9	▲ 0.9	13.6
	ターミナル	4.0	6.1	3.1
	内航	1.3	4.8	4.2
	外航	1.9	▲ 5.7	13.0
	内航コンテナ	▲ 11.3	▲ 10.1	▲ 3.8
	外航コンテナ	4.4	▲ 12.4	6.3
	海峡	3.4	7.8	5.0
	中・長距離	0.9	▲ 1.8	▲ 1.8
	国内線	11.7	15.0	11.1
	国際線	▲ 48.1	▲ 60.8	▲ 68.5
	普通倉庫	23.5	12.5	25.4
	貯蔵槽倉庫	49.3	9.3	36.2
	冷蔵倉庫	▲ 1.5	1.5	11.6

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	136.9	87.5	44.3

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	▲ 6.8	▲ 1.9	▲ 13.8
	新規届出(軽自動車)	0.0	▲ 1.7	▲ 26.3
	新規登録(貨物)	▲ 11.4	▲ 14.0	▲ 4.5
	新規届出(軽自動車)	18.0	16.7	▲ 21.4

※ 詳細は「モード別実績」のとおり

※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
 今月掲載データは令和3年度第4四半期(令和4年1月～令和4年3月)分

目 次

I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		

I. 概況

1. 旅客輸送

	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比23.9%増、このうち北海道新幹線の輸送人員は同131.7%増となった。また、対2019年同月比は19.6%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同33.6%減となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月31.0%増、このうち定期旅客は同17.8%増、定期外旅客は同39.4%増となった。また、対2019年同月比は12.5%減、このうち定期旅客は同12.8%減、定期外旅客は同12.4%減となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比33.5%増、このうち札幌市は同25.0%増、函館市は同50.7%増となった。また、対2019年同月比は20.3%減、このうち札幌市は同17.9%減、函館市は同24.0%減となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比24.9%増、このうち定期旅客は同15.3%増、定期外旅客は同28.1%増となった。また、対2019年同月比は24.2%減、このうち定期旅客は同27.8%減、定期外旅客は同23.0%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比86.2%増となった。また、対2019年同月比は42.7%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比43.7%増、このうち札幌交通圏は同53.9%増となった。また、対2019年同月比は29.7%減、このうち札幌交通圏は同28.2%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比90.2%増、このうち道内相互間は同179.7%増、道内一道外間は同61.5%増となった。また、対2019年同月比は20.4%減、このうち道内相互間は同26.3%減、道内一道外間は同16.8%減となった。
	外航フェリー	・外航フェリーの運航実績はなかった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比193.1%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同156.3%増となった。また、対2019年同月比は27.2%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同32.0%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送人員は、2022年1月以来となった。 ・対2019年同月比は99.99%減、このうち定期便は運行実績なし、チャーター便は、44人増となった。

2. 貨物輸送

	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比0.3%増となった。また、対2019年同月比は1.5%増となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比2.0%増、このうち宅配貨物取扱い個数は同5.4%増となった。また、対2019年同月比は8.2%減、このうち宅配貨物取扱い個数は同34.0%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比8.9%減となった。また、対2019年同月比は10.8%減となった。
	ターミナル	・北海道トラックターミナル(株)における取扱い輸送量は、対前年同月比4.0%増となった。また、対2019年同月比は11.2%増となった。
	内航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比1.3%増となった。このうち移出は同0.3%減、移入は同2.8%増となった。また、対2019年同月比は1.2%増、このうち移出は同3.2%増、移入は同0.7%減となった。
	外航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比1.9%増、このうち輸出は同7.8%増、輸入は同0.5%増となった。また、対2019年同月比は0.3%減、このうち輸出は同3.4%減、輸入は同0.5%増となった。

<凡例>

R4.7	R4.6	R4.5	R4.3
------	------	------	------

	内航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比11.3%減となった。また、対2019年同月比は14.1%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比4.4%増となった。また、対2019年同月比は6.6%減となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比3.4%増、このうち下りは同4.1%増、上りは2.6%増となった。また、対2019年同月比は3.3%増、このうち下りは1.0%増、上りは同5.7%増となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比0.9%増、このうち下りは同1.0%減、上りは同2.9%増となった。また、対2019年同月比は0.8%減、このうち下りは同2.2%減、上りは同0.7%増となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比11.7%増、このうち新千歳～東京(羽田)は同7.6%増となった。また、対2019年同月比は30.3%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同33.8%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比48.1%減、このうち定期便及びチャーター便は同78.8%減、保税運送物は同6.1%増となった。また、対2019年同月比は63.3%減、このうち定期便及びチャーター便は同89.9%減、保税運送物は同416.5%増となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比23.5%増、保管高は同1.4%増、当期末の利用率は82.1%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は32.8%増、保管高は3.0%減となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比49.3%増、保管高は同4.9%減、当期末の利用率は67.6%となった。また、対2019年同月比は、入庫高23.1%増、保管高は10.7%増となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比1.5%減、保管高は同4.8%減、当期末の利用率は27.9%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は8.3%減、保管高は11.0%減となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比136.9%増、このうち日本人は同136.5%増、外国人は同516.1%増となった。また、対2019年同月比は18.4%減、このうち日本人は同0.5%増、外国人は同98.8%減となった。
--	--------	--

4. 車両数

	新規登録(乗用)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比6.8%減となった。また、対2019年同月比は23.7%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、対前年同月比0.7%減となった。また、対2019年同月比は2.1%減となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、増減なしとなった。また、対2019年同月比は14.6%減となった。
	新規登録(貨物)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比11.4%減となった。また、対2019年同月比は14.0%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、対前年同月比0.6%増となった。また、対2019年同月比は2.2%増となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比18.0%増となった。また、対2019年同月比は6.4%増となった。